

札幌市小中学校環境教育研究会(環教研)設立

■ 設立背景

- ・ 2025年度(令和7年度)に設立された、札幌市内現役教員を中心とする環境教育の研究団体です。
- ・ 環境省・文部科学省とも連携する「全国小中学校環境教育研究会」(昭和39年設立)の札幌支部にあたります。
- ・ 札幌市の環境教育・啓発を、学校・家庭・地域に広げるため、学校現場からの発信力を強化するとともに、環境問題を自分事として捉え、主体的に考え、行動できる子どもを育てていくことを目的としています。
- ・ 学校の枠組みや教科の枠組みを越えて、様々な人と連携、協力しながら授業実践し、チャレンジしていこうとする前向きな先生方の活躍の場をつくるために設立しました。

■ 組織概要

- ・ 会 長: 斉藤 健一(札幌市立資生館小学校 教頭)
- ・ 会員数: 15名(国語、社会、算数、体育など様々な教科を専門とする小中学校の教諭が参加。会員数初年度目標: 50名)
- ・ 会員所属校: 札幌市内小中学校

■ 主な活動計画

- ・ 今年度中に会員50名達成
- ・ 公開研究授業、全国大会での実践発表を予定
- ・ 月一度の定例会議(実践交流、各活動の準備)
- ・ ENPITSU PROJECTの実施(アジアの国へ教諭を派遣し、札幌の子どもたちから集めた文房具を届けると共に環境に関する授業を現地校で行う)
- ・ 他都府県の環境教育視察(他都市に赴き、環境教育の実践交流や行政視察を行う)
- ・ 環境広場さっぽろイベント企画(子どもを対象とした環境啓発事業を行う)
- ・ 出前授業「学びコネクト」構築(環境教育や学校現場を応援してくれる企業やNPOと学校現場をつなぎ、専門性の高い授業が札幌市内小中学校で実施されるように努める)

■ 今後の展開

- ・ 札幌市での全国大会実施
- ・ 札幌市の川や山などの自然を生かした環境教育プログラムを構築し、札幌市内に広める
- ・ 札幌市教育委員会、環境省や文部科学省とも連携し、北海道や札幌の特色を生かした環境教育を全国に発信



▲ 札幌市小中学校環境教育研究会 第1回 総会
(2025年4月28日)



▲ エコチル北海道版2025年4月号 エコなひと